

基本的な医療保障や損害補償以外に 必要な備え について考えよう



リスクに応じた様々な保障を知っておくと安心です。

学資保険で教育費用を備えよう!



学資保険は計画的に教育費を積立て、必要な時期に満期金や祝い金を受け取ることができる保障です。



学資保険のイメージ (18歳満期 入学祝金あり)



検討 POINT

- どのタイミングで給付を受けるか、ご家庭のライフプランも含めて検討しましょう。ただし、原則的に満期まで給付を受けることができないため、急な出費への対応が難しいということがあります。
保障内容と保険期間、受取時期・方法を把握し、加入を検討しましょう。
- 学資保険に入ることによって将来の教育費への備えはできますが、お子さん自身のケガなどの保障が万全というわけではありません。
医療保障にも同時に加入し、教育費のみならず医療費への備えを強化しておくことも検討しましょう。

年金保険で将来に備えよう!



老後の月々の生活費と収入の差から必要額を確認し、公的年金制度に加え、私的年金制度とともに個人年金保険の活用も検討しながら老後資金を準備しましょう。

個人年金保険には3つのタイプがあります。確定年金タイプは生死にかかわらず一定期間年金が受け取れ、期間内に亡くなった場合には遺族が受け取れます。有期タイプと終身タイプは生存しているかぎり、一定期間(有期)または亡くなるまで(終身)、年金が受け取れます。

検討 POINT

- 中途解約した場合にそれまでの積立額の一部しか戻ってこない場合があることや、将来の貨幣価値の変動から老後に貰える金額が十分でない場合があることなどに注意しましょう。

家族の一員! ペット保険で動物の医療保障も備えて安心!



ペット保険はペットのケガや病気の医療保障です。公的保障がないペットの治療費に備えます。

検討 POINT

- 多くの商品で補償割合が設定されており、その場合医療費の全額は補償されないことに注意しましょう。
- また、ペットの年齢とともに保険料が上がり、家計の負担になることもあるので、保険で備えるか、貯蓄で備えるか検討しましょう。

